

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月16日

北海道運輸局

評価対象事業名:平成28年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
ニセコ町地域公共交通活性化協議会	ニセコバス株式会社	<p>運行系統名:ニセコ町全域 町内全域を運行区域とするデマンド型運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃1乗降200円 ・ドア・ツー・ドアサービスでの運行 ・午前8時から午後7時まで毎日運行(平日のみ、午前7時台に一部地域からの路線を運行) ・車両及び台数 ワンボックスタイプ(10人乗り) 2台 	<p>町民対象としたまちづくり懇談会でのデマンドバスの説明、町ホームページによる周知、事業者バス時刻表、デマンドバスパンフレットや観光情報誌へ掲載、町内コミュニティFM放送での運行情報提供等による広報活動を行った。</p>	A	B	<p>現在、車両数は、運行当初からの2台体制を維持している。しかし、冬季間の乗車希望に対し、所要時間の増等の影響もあり、十分応えきれていない状況。予約時において、乗り合い運行を奨励する運用改善を行い、実車時平均乗車密度が若干上向きになったものの、抜本的な解決には至っていない。</p> <p>現在、地方創生事業を活用し、町の交通体系見直しに向けた調査を進めており、その中でデマンドバス運行の詳細データから、課題と解決方法を見出すこととしている。</p> <p>安全な運行体制の確立を図りつつも運行経費の削減と利用者数の増による収入確保と収支比率の向上に向け取組みを進める。具体的には、引き続き、乗り合い運行数の増、乗合率及び利用者数を高める取組みを進めるなど、適宜改善を図る。</p>	(平成29年度分と併せて評価)	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月16日

北海道運輸局

評価対象事業名:平成29年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
ニセコ町地域公共交通活性化協議会	ニセコバス株式会社	<p>運行系統名:ニセコ町全域 町内全域を運行区域とするデマンド型運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃1乗降200円 ・ドア・ツー・ドアサービスでの運行 ・午前8時から午後7時まで毎日運行(平日のみ、午前7時台に一部地域からの路線を運行) ・車両及び台数 ワンボックスタイプ(10人乗り) 2台 	<p>町民対象としたまちづくり懇談会でのデマンドバスの説明、町ホームページによる周知、事業者バス時刻表、デマンドバスパンフレットや観光情報誌へ掲載、町内コミュニティFM放送での運行情報提供等による広報活動を行った。</p>	A	B	<p>現在、車両数は、運行当初からの2台体制を維持している。しかし、冬季間の乗車希望に対し、所要時間の増等の影響もあり、十分応えきれていない状況。予約時において、乗り合い運行を奨励する運用改善を行うなど対応は進めているものの、抜本的な解決には至っていない。</p> <p>現在、地方創生事業を活用し、町の交通体系見直しに向けた調査を進めており、その中でデマンドバス運行の詳細データから、課題と解決方法を見出すこととしている。その一環として、混雑するスキー利用によって予約が取りにくい状況を解消するため、H29年12月より市街地とスキー場を結ぶスキーバスを定期運行することで、デマンドバス利用にどのような影響がでるか検証している。</p> <p>今後も安全な運行体制の確立を図りつつも運行経費の削減と利用者数の増による収入確保と収支比率の向上に向け取組みを進める。具体的には、引き続き、乗り合い運行数の増、乗合率及び利用者数を高める取組みを進めるなど、適宜改善を図るとともに、ニセコ町公共交通の最適化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。 ・目標に設定した利用者数、月平均運賃収入及び収支比率のいずれも達成できなかったが、直近3年度において利用者数減少も続いていることから、現在進めている交通体系見直しに向けた調査の結果を丁寧かつ的確に検証のうえ、運行サービス向上及び乗合率・利用者増加による収支率向上に繋がることを期待する。 	